

小学生のためのなつやすみ子どもワークショップ

暑さまっただ中の2024年7月28日（日）、コミュニティセンターでは子どもたちがものづくりにチャレンジする「小学生のためのなつやすみ子どもワークショップ」を開催しました。このワークショップは、しごと創造ファクトリーひとつ屋根の下内に設置されている100人商店街に出店中のクリエイターの協力で実施されたものです。当日は会場に溢れんばかりの親子が集まり、ふわふわのモールドで作る犬のぬいぐるみや、ポップなカラーパーツを使ったイニシャルキーホルダーなど、思い思いの作品にチャレンジ。「楽しかった」「難しかったけどよくできてうれしかった」など、喜びや達成感を感じる声を聞くことができました。

また、杉戸将棋愛好会の子も将棋教室も開催され、将棋の駒の動かし方を教わりながら、みんな真剣に取り組んでいました。ものづくりと一緒に夏休みの思い出も作れたのではと思います。



コミュニティセンターからのお知らせ

★みんなで楽しく学ぼう！ 防災フェスティバル in ココティすぎと

ロープワークを体験したり、メスティンでご飯を炊いたり！防災に関わる様々な体験ができます。そのほかにも、消防車の展示や消火器体験、また、お子様向けの防災ワークショップや消防服コスプレ体験などもあります。ぜひご参加ください。

開催日：9月23日（月・祝）午前10時～午後3時
会場：杉戸町コミュニティセンター

※イベントの詳細内容は随時SNS等で発信していきます。
Instagram・Facebookアカウントのフォローをお願いします！

★休館日のお知らせ

3ヶ月に一度の定期清掃のため全館休館させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程よろしくお願いたします。

休館日：9月25日（水） 終日

※ココティすぎと館内全ての施設に終日立入できません。
※図書は玄関前返却ポストへ返却をお願いします。

コミセンからこんにちは ～スタッフコメント～



今月の担当者
内山

こんにちは、遅番スタッフの内山です。
午後4時半過ぎからの担当なので、お会いできる機会も少ないかもしれませんが...。見た目は体が大きいですが気は小さいです。良かったら声をかけてください。

杉戸町コミュニティセンター

〒345-0036
埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸3丁目9番10号
TEL：0480-53-7400
Eメール：sugito.community@machikatsu.co.jp
開館時間：午前9時～午後9時30分
休館日：年末年始（12月29日～翌1月3日）

ホームページや各種SNSもぜひご覧ください！



Instagram



Facebook



ホームページ



杉戸町コミュニティセンター
すぎびよん

木村三樹男さん（杉戸夏まつり実行委員会）に聞く 杉戸夏まつり



コミセン団体紹介 公益社団法人自彊術普及会 人生100年クラブ

イベントレポート 小学生のためのなつやすみ子どもワークショップ

すぎとNews とは？

すぎとニュースとは、杉戸町コミュニティセンターの情報誌で毎月1回発行します。内容は、センターで活動している団体や、まちのキーパーソンの紹介、センターや町が主催のイベント情報などを予定しております。PRしたいことなどございましたらぜひ情報をお寄せください！

木村三樹男さん（杉戸夏まつり実行委員会）に聞く

杉戸夏まつり

毎年、皆さんが楽しみにされている「杉戸夏まつり」が7月20日（土）、21日（日）に行われました。伝統を保ち、時代に合わせた形態をもって愛されてきた夏まつりについて、杉戸夏まつり実行委員会の木村三樹男さんにお話をうかがいました。

杉戸夏祭りは八坂神社の祭礼として行われていました。「天王様」という愛称で親しまれながら、時代を経て今の形になっていったのです。



杉戸町行政区・区長会長でもある木村三樹男さん。以前は神輿も担がれていたそうです。

2日間で延べ10基の神輿が渡御しましたが、昔は12もの町内会があり、10基以上の神輿が出ていました。各町の高張提灯の淡い明かりが灯り、とても風情がある素晴らしい光景だったことを覚えています。

山車は作られてから約80年の歴史があります。今は着色されていますが、当初は樺の木目や色合いが美しかったですよ。今回その山車の上で囃子の演奏をしていたのが、300年の歴史を持つ杉戸町無形文化財の茨島囃子保存会です。2016年の「開宿400周年記念 宿場祭り」以来だったので非常に貴重な機会でした。

「祭り」は体験を通して受け継がれていく、地に着いたものです。人口減などで課題もありますが、「杉戸夏まつり」は人を元気にして、町を活性化するチャンスと秘めていると思っています。



①茨島囃子保存会の囃子とともに町内を練り歩く山車。②威勢のいい掛け声が夕暮れに響く神輿渡御。③山車の素材は主に樺。背面の彫刻も立派。④山車を先導する木村さん。⑤日本工業大学建築学科吉村研究室の学生も設計に協力した山車蔵。コミュニティセンターでは令和7年3月に山車蔵に関する吉村英孝先生の講座を開催予定。

夜の川面を彩る「静」の祭り 古利根川流灯まつり

杉戸町のもう一つのお祭り「古利根川流灯まつり」も8月3日（土）、4日（日）に行われました。川面に映る灯籠の灯りが趣深く、勢いと活気に満ちた「杉戸夏まつり」とは対照的な静謐な情景が印象的です。当日は、「お休み処」で地元有志の方々が焼きそばやお酒の販売を手がけたり、開催本部に設置されたステージで吹奏楽の演奏ややさしい無邪気による演舞が披露されたりと、街の皆さんがお祭りの雰囲気を感じ上げていました。来年で30回目の節目を迎える「古利根川流灯まつり」。「杉戸夏まつり」とともに杉戸町の歴史を紡ぎ、人を繋いでいく夏の風物詩が今後も楽しみです。



コミセン団体紹介

公益社団法人自彊術普及会 人生100年クラブ

「自分で体を整える」



Q：活動年数は何年ですか？

A：2020年2月から活動を始めたため、活動開始してから4年半になります。すぎとクラスは2023年の12月から始め、半年間活動をしています。

Q：設立のきっかけは？

A：2014年に友人からチラシをいただいて自彊術を知り、体験し、習っているうちにハマってしまい、気づいたら指導員資格を取得していました。2019年秋に資格を取得し、その翌年の1月には体験会を開き、コロナ禍の中で幸手で人生100年クラブを立ち上げました。

Q：団体の自慢を教えてください。

A：元々治療術である「自彊術」なので、日々続けることによって、皆さん持病を回復されたり、元気になったりしています。教えている側からしても、1、2年と活動を続けている皆さんは、実年齢より若返っているように見えます。

Q：今後の目標はありますか？

A：自彊術普及会の春日部北支部が誕生してから10周年ということで「10周年記念大会」が10月13日に春日部中央公民館にて行われます。大会の開催に向けて現在準備を進めています。会員の方も、そうでない方も参加できますので気になった方はお問い合わせいただければと思います。（ココティ掲示板に連絡先がございます）

新規メンバーを募集しています。見学希望の方はコミュニティセンターまでご連絡ください。

活動人数：3クラス 33名
活動内容：自彊術の実践・自彊術の普及活動
活動日：各日程月3～4回程度
月曜クラス・水曜クラス：幸手西公民館
火曜クラス：杉戸町コミュニティセンター

